

## 平成26年度 小野市の財政健全化判断比率（指標）

指標名	小野市の指数	参考 (平成25年度)	判断基準	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (△2.49%)	△1.82%	13.18%	20.00%
連結実質赤字比率	— (△42.27%)	△38.15%	18.18%	30.00%
実質公債費比率	7.6%	9.1%	25.00%	35.00%
将来負担比率	— (△24.8%)	△20.4%	350.00%	—
資金不足比率 (水道事業)	— (△311.5%)	△322.5%	20.00%	—
(下水道事業)	— (△6.3%)	△5.9%		
(都市開発事業)	— (△36.5%)	△19.5%		

### 毎年度の収支の健全度

◎実質赤字比率 表示数値なし (△2.49%) (H25: △1.82%)

税込収や交付税など自治体の収入に対する一般会計の赤字額の割合

(普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率)

算式… 一般会計実質収支÷標準財政規模

$$274,166 \div 10,998,503 = 0.0249 \text{ (黒字)}$$

◎連結実質赤字比率 表示数値なし (△42.27%) (H25: △38.15%)

税込収や交付税など自治体の収入に対する公営企業などを含む全会計の赤字額  
(公営企業は資金不足額)の割合

(全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率)

算式… (一般会計実質収支+公営企業の資金の余剰額)÷標準財政規模

	(H26)	(H25)
一般会計	274,166	200,071
国保	69,272	27,755
介護	76,567	119,217
後期高齢	12,167	9,316
水道	3,301,535	3,324,541
下水	58,576	53,758
都市開発	856,851	456,320
計	4,649,134	10,998,503

$$4,649,134 \div 10,998,503 = 0.422706 \text{ (黒字)}$$

**毎年度の借金返済の負担割合**

◎実質公債費比率 7.6% (H25:9.1%)

税金や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合

(普通会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率)

【毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額(普通交付税で措置されるものを除く。)に充当されたものの占める割合】

算式… [ { (元利償還金 + 準元利償還金) - (特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額) } ÷ { 標準財政規模 - 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 } ] の3カ年平均 (参考 単年度 H24:9.8 H25:7.0 H26:6.1)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	積立不足額を考慮して算定した額	満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)	公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	一時借入金の子	特定財源の額	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金)	災害復旧費等に係る基準財政需要額	災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金)
H24	1,739,770			1,009,637	223,411	21,254		283,789	355,644	710,930	615,017	74,650
H25	1,746,835			922,112	86,730	16,397		244,461	337,116	749,803	655,479	71,267
H26	1,728,708			835,416	177,750	13,000	30	236,699	329,617	749,639	749,681	59,705

	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金	標準税収入額等	普通交付税額	臨時財政対策債発行可能額
H24	1,491	67,672	7,299,391	2,666,373	934,063
H25	1,468	66,257	7,320,575	2,638,309	1,026,406
H26	1,044	73,056	7,431,566	2,614,356	952,581

$$(\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} + \textcircled{7} - \textcircled{8} - \textcircled{9} - \textcircled{10} - \textcircled{11} - \textcircled{12} - \textcircled{13} - \textcircled{14})$$

交付税算入額

$$/ (\textcircled{15} + \textcircled{16} + \textcircled{17} - \textcircled{9} - \textcircled{10} - \textcircled{11} - \textcircled{12} - \textcircled{13} - \textcircled{14})$$

標準財政規模

交付税算入額

$$\frac{884,879}{9,074,423} + \frac{646,223}{9,103,900} + \frac{555,463}{9,035,761} \times 100 / 3 = 7.6\%$$

各数値の内訳

①	一般会計公債費 1,728,708	⑩	下水 738,976 環境 10,663
④	水道 104 下水 835,312	⑪	災害復旧 減税補てん 臨時税補填 臨財 補正 臨財特例 財源対策
⑤	湧水苑 32,410 小野加東加西環境 3,154 企業団 142,186	⑫	補正予算(下水・環境) 臨時財政特例(下水) 財源 対策(環境)
⑥	逢花苑 4,958 加古川西部土地改良 8,042	⑬	水源開発出資分(一般会計)
⑧	住資・災害 5,281 市住 55,400 都計税 176,018	⑭	企業団分

## 将来における借金返済の財政規模に対する割合

◎将来負担比率 表示数値なし（△24.8%）（H25：△20.4%）

税収や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来支払うべき借金等負担の割合

（普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

算式…将来負担額－（充当可能基金金額＋特定財源見込額＋地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込み額）} ÷ {標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}

### 将来負担額

	地方債の現在高	債務負担行為支出予定額	公営企業債等繰入見込額	組合等負担等見込額	退職手当負担見込額	設立法人の負債額等負担見込額	兵庫県	連結実質赤字額	組合等連結実質赤字額負担見込
(H24)	15,752,207	45,887	11,280,260	2,343,212	2,988,210	87,000	87,000	0	0
(H25)	18,804,796	28,635	9,340,925	2,933,172	3,487,335	87,000	87,000	0	0
(H26)	18,895,551	15,252	8,671,806	3,030,007	3,389,595	87,000	87,000	0	0

### 充当可能額

	充当可能基金	充当可能特定歳入	うち都市計画税	基準財政需要額算入見込額
(H24)	9,189,208	2,754,941	2,405,072	21,708,767
(H25)	9,911,448	2,544,366	2,239,323	24,090,164
(H26)	10,020,843	2,236,950	1,993,744	24,076,478

将来負担額 A	34,089,211	充当可能財源等 B	36,334,271	A - B	-2,245,060	将来負担比率 (%)	-
標準財政規模 C	10,998,503	算入公債費等の額 D	1,962,742	C - D	9,035,761		

## 公営企業の経営健全度をチェック

◎公営企業における資金不足比率（資金不足なし）

資金不足額（公営企業の流動負債と流動資産の差）の営業収益に対する割合